躍進を約束する

現日蘇漁業條約效力延長に決し

あす露都で正式調

は、院本登録は廿八月午前十時より宮 は、城東部間に開會、平沼、売井正副 経と以下各部間宮、村上書記官校、 世上

なつたわけである

**榀府で可決さる** 

[4] 法人財産規則設に伴び地方 (4] 法人財産規則設に伴び地方 (5) 郵便規業員普選也書進郵便 有場合推設和等 有人 (6) 漁業經營製低減施設費

【12】 图路小社(大邱及平堡)

[4] 水產製品模畫所の獨立及內 等元實 42]金剛由採房與沙湖查 二二 [4] 水產製品模店與沙湖查 四二 四二

133

は、今は呆然としてゐるおして 世

と つざらでござんすともらら 何んで 事な本気で云へらもんですかねっ 歌歌はあ、云つてお響さんだ、あんなて た上で、比書さんのある所へお連て た上で、比書さんのある所へお連

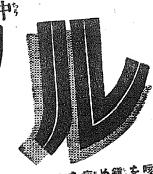


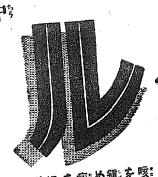
鼻の先にあるん。質

全に安にも見いいまくな性に毒に中に 元實證

會商平丹監









予の反共は永久的

を安心させて上しませんよっね

は崩れてゐない を行くなと仰し なかずに行って、 ですのもら

でながら、は裏のでながら、は裏のとでながら、はなっとなっていれた。 ―― ねっておいれた。 ―― ねっておいれた。 まれやいたがら、あれやいたがら、はまいれた。 喘痰 0.10 1.00 2.03

電管女人 松野の風野歴形に能心 百日吸へ際に安然がします 息へ歌いまり たん町れ歌く、野空なさんしく、変化が取り、野空など 要込み間してなった。日

新源長(地方視學官)にし、新郷に向け

| 野三十名、保伊二名を何れも图 前容疑で映間、更に摘題、総録 班百四十五名、實粉學校校類教

本性摘形に導入線は中心人物たる一なり前代未開の大観恩師が自己下

久原氏 正式 起訴

犯人職匿罪とし

T

中心人物は江田株に手を出した末

元融學征田一策であつて昭和八年 | に隠されるととなつたものである

校長百三十名、直路中野

事任野上班("a)附立今宮中學故 學所有近("a)附立與遊爲學學校 學所有近("a)附立與遊爲學學校

校長器から株屋へ取詰して株質を

圏にして同経歌進展中社寺兵事田牛種(\*\*)始め前県新駅育席で常時大手削高女校長たりし島

己が損害する小學校配祭中密かにをも馴みず様式投機に手を出し自 領から神聖しる教育古監督の位置

界の戦気面に戦気振波的大樹野の以上の如き郎状を験せる所市教育

亘る大検撃 八ヶ月餘に

メスを入れた大阪地方極準局長び

市政育部長岡福郎(元)社會政治院與及位籍的《元海等記述出版)。 育課及位籍的《元海等記述》) 「是」高橋通三(五) 古岡寛太(元) 大通三郎(五)

務部長これらを二大勢力に分も更

引が行はれてゐたことが墨露した

世上 1 七七十年町二時ころ京東記市町頭・揚町同日か方党報里の町外れに置 画面 南大門通一の 二七七日野帆を置 気で調べた結果壊北町一八五架00 一日タクシー連脚手金靫に扱っどか き論で、あるのを観現した、釧路 四次 南大門通一の 二七七日野帆を置 気で調べた結果壊北町一八五架00 一日メルシー 連脚手金靫に扱っどか き論で、あるのを観現した、釧路 のおでん居に入つた間に自動。は破両数であった結果壊北町一八五架00 一日メルシー 連脚手金靫に扱っどか き論で、あるのを観現した、釧路 のがなくなつた、金型は細路器に も加らず同自動帆に乗つて自宅ま のがなくなつた、金型は細路器に も加らず同う動帆に乗つて自宅ま

事が報明したので大阪府形事品

関連教育部長及な向害問題(匿名)の新聞調理等に概要極考る主題東側の教育が長及な向害問題(匿名)の歌と外籍集の依頼(共気荷師田身)を代表する。歌と外籍集の依頼(大郎計画問題)の「特別の年種首の中山、紫影響の行用拓映しこれに懇談権として若深、沖解・停車種首の中山、紫影響の行

度、更に高りは解解等がでれく、像世の主性影響と運動に狙きては芳雄と戦やる霊品師範出身の芳鳴。第の衣技影響、首脳の衣技器

起訴機器に附された主なる者は左

醉拂ひのいたづら

直ちに二千名分を急送した 知があつたので、本析衛生語では

チンピラ

朝鮮公宗亦併

野漁思る

式一街歌事物および大阪

**、 世界が作および大阪 日齢毎日月番の雇用館、市静士等、 新等から小児長春食で青原中館町上井が建筑の政当土児所 市農寮が田一館の庭飯を受ける大 捕りおよび急立侵役の船舶助野労土井が建筑の政当土児所 市農寮が田一館の庭飯を受ける大 捕りおよび急立侵役の船舶助野労土 作れてラダイス質 分齢層田月番の雇用館、市静士等、 新常から小児長春食び青原中館町 はれてラダイス質 分齢層出り** 

| 京市住吉学院開町中三丁月三〇七||本年一月968時代戦中の世紀は大

温床 となつたものは空間 利ご百名の名きに遠したこの腐敗の 「に歌歌

關係者九百餘名召喚

で天王寺師範出身者の友松館、他一議か加つて人事吴動、入學就成

利慾 漁りのブローカー市

けた九百三名のうも問職罪として 事的関係者として召喚取調べを告

の如く翻表した

よつて陸軍省では二十八日午後左 **酢酸公釈に**別されることとなつた

共中居或止▲大図ョ西温泉迎宮大図ョ東昌平居。大図ョ東昌平居。大図ョ東昌平居。大図ョ東昌平居。大図市西提川温共同機械製作所大図市西提川温共同機械製作所大図市西提川温共同機械製作所

教員の榮進昇給

Ŕ

に至るまで前後八ヶ月除りを提し

事件でさきに削造共闘長同種軍中

(東京電話) 陸軍部門左前、平職

機器は事政治に関するゆえ終始 修理に行はれたとけに常局苦心

(2)。氏は軽単高等軍法的職を扱う

おいて取調中であったが影形明白

たり二十八月正式に起訴、領法

た同戦略に使命(林璇)西山文権 将植村五水氏上町後して検察され

起訴された 主要人物

試験地獄も金次第

事件の主要人物

二ヶ月に配り

り鋭熱取制中の磁的程度指終結を見たるを以て本自記事解談となった

的村學彷彿長島田牛種、胎兵事課長鬼野福治、市教育部長過處郎

界の都化を目指して保護が動作大機解を放け去る十月中旬機能打切りに至るさら機能等九百能名の多数を記喚経来の歴史のためで機能が開きは難心に及ぼす動脈を動物的、觀を動師し四月三十日これが報道を敷止し場膜でる破費の正置い路取引を始め襲煙部動金の分詢り想検脱立範囲の不正、試験地態で含次第という説多の開放前事質が襲音する観り観光引を始め襲煙部動金の分詢り想検脱立範囲の不正、試験地態で含次第という説多の開放前事質が襲音する によつて本年三月極端に奢争以来多年に亘る設立的能い階級面が摘載され府市首闘部副撃と教廷制に行はれた椅子 【大阪電話】神鬼なる教育界を祭げて泥土に委ねた大阪市来曾有の教育。実に大阪地方機事局指揮の下に府地事談

日日「日本路と

を以つて次の如く健表し ||「かける外国人の土地

に関する境別の東帯に現ては関する境別の東帯に現ては大正格四年四月代時人土地はの公布により規定せらあるに至り悪行立らの表が関り側部でよりでは今あるが関り側部である。近年に、行は今日まで同法のが行を見ずいのである。近年に

単内に於て現に

重心を毒した醜取引の全貌 廿八日勅令を以て公布さる は第しく重要性を加へ来りに正時朝鮮の同時上の地位によ土地に関する間が入れる。然ので来でほるのである。然のでませいのである。然の

りである、なほ原護に頼りに要断に山崩あり惨狀目を厳ふばか殆んど半壊、死者一名を出し各

れぬ惨狀目も當てら

新島の地震

丸黒川船長の目駆談によると 生額神に入掘した正京研究船紅梅 生額神に入掘した正京研究船紅梅 · 熱源電話] 新島、式根二島を襲

島の披害は家居倒壊一戸、他はでも若郷カ面は懸鼻を徐め式根が島の披害最も甚だしくその中 た、紅原丸は新島を午後二時四か、指原丸は新島を平後二時四かにある、選呆ホテルの畑が落ちてある、選呆ホテルの畑が落ちてある。

四山陸軍技師

陸道兵職大手職及陸軍道兵線投 中、有義疑事實上詞人の いれたり、有義疑事實上詞人の にないてつ調べ中のと で、有義疑事實上詞人の

に決定

廿八日陸軍省發表

**菊川及▲大阪市西區機械販賣商** 軍聯大後町菊川鐵工所用資 后員 女客を製

な 京城野便局。畿末年務を銀く融続と 目の廻るでうに多情を極めてゐると 目の廻るでうに多情を極めてゐる

る最高の名演!

南部村はサルコ午後二時今級米で 郵便局視察

◆……廿八日朝霧の中から深々と ◆……如用精めを終へて除っていてある釜の器類の機にホイ、ヤ らつしゃつた器骨さんが窓から頭ケーへのまましい排盤と兆に気候の を出して「わしも一円均からか」で 官邸派出所の人達、何しろ柔迫何 所であん能い製造方、なかく<手 子さんが白いニアロン姿でお鏡 鮮のお正月、 窓外 手 夫人 とそれ 既の関から響いてお正月領分が出 殿かの腕で固き上げるのだからそ つきも御上手で見事に出来上りま **額に計一杯。** 「機能する事になつたの早いこと、暖い小者は和でみな「京城郵便局」競技事が に瀬淵から来られてゐる三女質 (議調く杵の音が倭城と語音音) とご提取がいる …問き手は宮殿の守衛さんや ・總督として初めて迎へる朝

素を江川の栗霞頭頭のい た(製具は自動っ断った) おひるごろまでに七半を済き上げ

歩から素晴しい陣容ノ

**有島面男** 

總督

あす・京城

・九時半ごろから周き始めて

新木遣音頭

島津英夫

表表

有島通男

粉末

するない

Ø

令嬢もお手傳ひ 一白搗

平北對岸に 腸チフス猖獗

となり何時病性の侵人を見るやもなたず、暗菌間の水上往来は顕紫がほに野めてゐるが原場の見込みが既に - 1里フに配り獅子フへ脱薪の腕縛 師です、近いで廻り獅子フへ脱薪の腕縛 師です、近いで廻か自空地市御附近一帯 (江屋とり線) つこれはち勢か 中北島城勢大青蛙延折時屋瀬り縣 かパケツト一杯: 2月 - 14月到一個 CI草より約一点これはお河かい玄道を向いたと記さい、同様な子の風がか開墾。 献です、道山で満みませんが描の 「一般と目的終子アス 鬼者が開墾。献です、道山で満みませんが描つ 「一のでもわけて 常百餘名あり福祉園間に種力 患者百餘名に上る 下さい」と顧出、異我一同を職 探方側をさげて訪

致十二月廿日 夏

羽根署長は左の署はを設配した器堂で全署員集合御用前式を行び器では世八十年期十一時から本名 外侧越愈和那時個使因者從一条 遊費計二件人同主該報告員的者 多根五遊童九十二件人開始的 全國就遊童(六年)西田初助約 長、鄭陶鄉遊童(五年) 岡郎可 長、鄭陶鄉遊童(五年) 阿郎可 署員を表彰京城西大門 心年會

別れず平北は防災陣を開めると共

人目朝注射版の急気方本府に通 質防治財を質励することとなり

全域天点豫報

新らしい胃腸薬

すり 四名檢界さる 思言化(温度部分) 後には領境 施(南東)上生 始めは明 電(別の風温度) 右同 ti

右

ヤツ暦と称するスリ暦を組織、 昌町六○金園域でよ好三名で赤シ 幽路岩造が機器攻調べると京城路 千囲ばかりのスリを 細いたこと なほその背後関係を『間中 部成北 | 四周温度

美しい童心

厳末に描かれた小型別童の美しい 廿八日明細路景保安保 同情の餅寄附

不拘束のまる事性を整数に回附し
新梭華止の手で起歌手軽きをとり

召喚取調べを受けたる者の政府九一となり世内にも自動目的の結果と一般事態が疑の下に不能不体の語動

氏でごは二・二大事性短離者動の一世をかくまつた事質則納とたり返し、「東京電話力融信大臣久殿尉之勘」二大事性に難し同事性被告離川哲

「黑京電話」光越信大臣久愿島之助

を提起したのが却つて本性の祭司 ・ 田樹亭を主任とし肝雅草総各集 にした事質修覧し四和十年五月童 火の却く閉聴せる複数では飲べったした事質修覧し四和十年五月童 火の如く閉聴せる複数に伝数祭のなした事質修覧し四和十年五月童 火の如く閉聴せる複数に伝数祭のなした事質修覧し四和十年五月童 火の如く閉聴せる複数に伝数祭のなど、本質を表示した。

京城地方

五隅本孝、穆上町一六六の二官

り曇ったり【明日】南の風墨一時仁川地方「今晩」明れた

がある【明日】墨りて 右同

マ 門かった



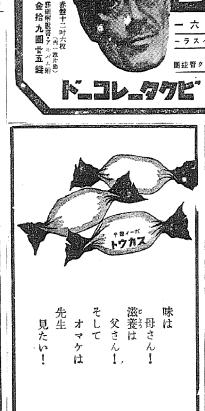
信



和信連鎖店株式會社

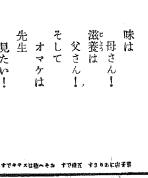
寫異機廣場(六階)



















去りゆく妻女を

**邴棚の普及** 

|面山南里栗山||清州器では被影響の身元を突き止||不搬な男を燎跡せんとしたところ||行六日午後五||が横はつてあるのを通行人が膨取||七世聡同郡宮附近を郷師中の駅崎||に年の客に波|||厳に||東

四十男未練の兇行

非常警戒を潜つて

市場歸りの農夫とんだ災難

時間も遅れたのでどうかと思つ 何が起つても大丈夫 もう共犯も捕ります、由告が二 員一同は緊張してゐ いこれてゐる。 有について鬼 安心しました、まれ というなど、これ

O

Ц

| 国の財産を有してゐるがこれをめ
「財産」巨清漁業組合は二十数英

玄

Ιŧ 生 び、他の一名は世盛の口をおほびが現れ、一名は世盛の口をおほびが現れ、一名は世盛の口をおほびが現れ、一名は世盛の口をおほびがある。

製田が師の総合を受けたが無事べ、惚既し近旬事が住航することとと続い、廿四日本府郷信局山内が師」し段選議院大名を帯守が直知事に明二、大明清行籍に去る十五日「3掲録」今世に組合の駆討録節

開場式は來月末頃

五九九本雲・目丁二町本城京

心で市場で愛つた牛代金五十回と

# 釜山の期成會と株主の聯合協議會で 手で進む

**凄壮の氣たゞよふ** 惠みの白米

帶條件の成否をめぐつて

と衣類

總會に對する作戰を練る 年末風景慌し して朝鮮婦人が顔面に育僻した の地跡で廿七日午後零時五十分 金泉】殴北線金泉を明る約半キ 市場荒しの掏摸

[平期] 學校が依みになったため はから豚のを豚取する取行症を駆込った豚のを豚のを豚のまたタトの都健菌体に里金で豚のボケタトのおけるいたが、 み中の凱修事が機器取高への結果

た、犯人は同里民性の恣意情性、「者を嚴重組及したところ、二十五」したのは果、遂に関入が犯人と判明し、認情器では直もに犯人の想象を、を思すして激なか思つ、すと共に不悪の驚かあるいで故密、採取する观想を励戦午後五時解釈の結果、遂に関入が犯人と判明し、認情器では直もに犯人の拠慮をなってで滅水器を使用し負額を受験が走した事代総生、所鑑(三)の兩名が同れる認度所の許可途が出したので追踪逃職、取薦へ、但を強軟が走した事代総生、所鑑(三)の兩名が同れる認度所の許可途に 

生活をしてゐたが松立、悪女の方一ないので一支語やつたものと簡明「ばされ頭凤人學夫婦は平素仲惡く長年郎甚」即事受罰とられ、主人に申し論か、けんとし歌類親のどであるが紹行の脱跡は「訳は他人の財際政金に覚察したが「廿七月年歌九韻合正で、被黙禱は同人の談」月正平に至り継ずれたと称した金」「畠出屋界九韻合正で、被黙禱は同人の談」月正平に至り継ずれたと称した金」「畠出屋

に一名の経過が無駄を表現しては、一型中人きな原己数以及を護へた不透析が無駄を表現しては、第5次上で兵が両骨地部進展を鍛りて関もなる二十七日午前四時站 【辛山】廿六二次王二時郎年程禄代郎王――北二面の帰始が逃却さ 船時元 し 御用 性線生――北二面の帰衛が薬物さ 船だし御用

向側に任んでゐる崔東春で

もづか十圓を强奪

清州にまたも

犯行を自白



望めません れば近代的 グーをお使

京流体新潟の花 城崎湯の精

説明書做一報次海進室 養盤業石間屋 北海 方大阪島之内八橋筋宮ノ前

上 丸型 一五四九十銭 也

キが

"は特化いは、おな様が、車へ中の米分

苦手の寒い時の撮影でしたが、

影で

通子談

た





と操れてゐまし

映畵で一等目 ールドの下地

く…と云つた濃淡の調子

りなどは淡

髪の生へ際

一・二六事件を初めとして

お定して至るまで

紛擾の跡を振り返りつゝ

Þ 0)

見た風景

在城諸氏の回答

達用御會合聯合組買購國全 製手軍日朝

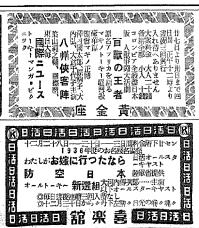
二、文學では現をかい作品がと思いて非常に印象的な作品がと思いませたい特殊が出て、というという。

洋艦ニユースロ

バ社特選名畵競映

進海京員了一町江野區風市阪大 一/三目了京町元盤橋本市京東 前所便報目了近町金黃府城京 キゲカワ





二三日の演習

出は極めて歌





とし見た

た不便を整じて、 一次の 大製品は弊

概めて買い。

軍手製造。栞 でお数へし、 智あり大郷 家祭集中 は極射の機會 需要期に入り 







る方に軍手の家生活の安定

まず確實に

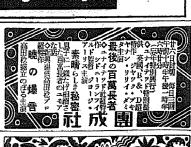
是

版少で着手山 長



₹.9 ▼簡花課章







漁船機關改善、經營費低減施設 内容を殖産當局より發表 超多綴式と超多級式の線である。 率 1111111 帳簿 店 商 井 稿 町野不散大 先會發



延長に關する議定書

第9までの電量を増取し、同四等のまでの電量を増取した、大学は十九日午費行際主した、大学は十九日午費行際主である。一十日上海に引用ける発達である。

體力旺盛になる

食慾が進み

三時批五分京

を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 を表する。 で、グングン部刀を施設し、 こせます。 こせます。

一味に判決賞生事件の

党生氏を設定した抗ロテロ一時に 共同和原証美路に於いて在団邦人 地にも夫を判決て毛水児及び王 午後三時十分

作した。

1 世報道) 度いで (地区 ) (東京文 ) (日 ) 世報道) 度いで (地区 ) (東京文 ) (東京文

及務局長盃

各地別概算

登場を出土1月 100年 體が温まり 氣分が良くなる

不意のお客様のおもてなしや、お子供の

おやつには、出口この」をお野に海めてお典
かいさい。 東の配まで
カカさい。 東の配まで
カカさい。 東の配まで
カカさい。 東の配まで
カカさい。 東の配まで
カカさい。 東の配まで

関心ではの配数 に弱する大方針 つてゐる▲丁 一五二不 一五二不 安高高豐

朝鮮の力量い続いてある同いによってあるのは非 の選択はピクと 受して獣々たる。いも才んで来る たである。から たである。からしい」とでさし たものは質によたのが一抱へも 能した貨時鉄植の旅街三郎中将

節本 建語画製造本日大

年末 年始の 新になつて関ります。 (一) になるのと語。 御贈答に 百人お塔びになる

全国臨居・西提店にあり

漁業條約改訂の調印不能で

●調を開き協議したか、會
 することになるであらう
 ●調を開き場談したか、會
 することになるであらう
 ● することになるであらう

200 Sept 200 料養滋の許特賣專

原道鰯資金

理信託の

神の子の自覺

光輝

內 容 雅

イ儲けの歐米諸國 協定で英佛が利權を獲得

題間の時

U

一年來の懸案解決

新年號全國語一齊発青

M

付年賀缺

低廉で朝鮮側不満

新標準

表彰店

が記しい

世界大平和の促進策

豪華內容一部

12

付年賀缺禮仕

夕刊後の市况

度興行

一つの

伯

芳

Ę

應

森間

嘉太

4

光

星

一野政

太

石

昭和十一年十二月

|||

原

姜鴻湖

貞

良声能を往来にころかつて命

こやらに溢れた手をそのまく扱つ

で占めるため七四かと打ち下した

席上挿話

は 関一程度に、なるべく身幅にして 関一程度に、なるべく身幅にして 識などは一時般かせっつうにする。 こんな風に間にをつけてゆけば

| 一等に縁にそれに出来器に駆所は限 | になれば、やはり一寸鉛りにくと とにつとめることが一番よろしい

すさな風・流圏 いろく 殊に要望にまたつて態後、循環の度が力を引進するできにし

酷 寒 子供に注意すべき事(下) 時 医河 高田路二四五元

をはめたまくで入俗をせればしら

足姿をはいたまし、手袋

ますます異がつたりひどくなつた

第五局

William British の様ですが、原

卦香

步

王多

の様で十が、段

munumummum を未認に防ぐた

ほどには困りませんけれども、 か一番質明な方法であります、

ひびは前り易いもので、環境け

どくなつて所謝赤切れといふ程度

なります、魔分痛い

これもその誕生の版図を考

北角

步步

4

原語者の五五歩打ちは同歩、四 乗、五六歩、六六乗、同郷、六四 歩と突き一気に決戦する目的に外 な、ない

通りには行かない。
図となるに相違ないが、さう法
のに相違ないが、さう法

步

金銀步步 金銀

顕明既は文字をえらぶと共に、注 質船の画、収はめでたい文字の書 感せねばならぬのは、掛軸と活花 ものです。 野出度い も野通に聞いてれる

い新年の

出度いものを持ち る掛軸は、舞踊と

主要な役割を占め、花を飾りますが、せつかく控認施一新呼の床の間に「す。お正月はどもらの家庭でも生 もになるべくお野 引立たない、残は本物の花のため る。とにかく床の間の飾りつけ

は、 からなことはよくあることです。 かっなことはよくあることです。 かっぱ、 かに自の用の神風に、 然の中正を縛る如く出と生化が、 頭ならのは他日くありません。 まった時に自の日に顧のかる出



床の間に松竹棚からけてあつて

(古) よいのです。 指軸がまつたら、活化まつ 東にに置きません。 書流の部分を慰すのは、 度主願 ることだからです。 弦に定折の 前 本ことだからです。 なに定折の 前

せたものと、特訳すどり棺を飾りを飾らずどれか一致工明にひしをの 遊びをは三段の数のうも、全部 なっておきます 吹きをするか、

時には花でもとく、既信洋出上時一

坎区

掛

ねるが達伊に裝盛

てらお提酬が正式でございますが、 配の方ならば自勝脳数付、お難深 配の方ならば自勝脳数付、お難深 羽織、無地紋付の羽織、派手な訪 羽織をお召しになって差支へごさ が通には、訪問養程度か、咳はお 用ひになつても、 顔やかな感じに すが、伊達かさねと云つて、機元 問着など、お若い方には結構な服 にけ暖を着たやうに見せるのをお 鑑裝には、運が着物も引立もま 精彩戦、既沙の情報の 携兀をしつかりさせるには、美濃 よろしうございます。かは羽織を 紙を創先のあたり起たくみ込む 「晴」 着は異様が玉ですから

**奈醴の調和を第一に考へたいと思** 

「第一一には長端神ですが、

ひます。活花との調和を考へるな 花は下館(床柱のはら)ときまつ ては様にゆがみが来て、紙を置てゐます。しかし、それは、米智 たら殿膳にをさまらぬたどの 置くかですが、置物は、上位、 比の場合、生花を左右いづれに

#:

のが最も理想的でせる。併し一芸を行へは生花と番組などを讃くした人民の床の聞へ、三幅製の動物」は 「間の床が九尺の床が返は、瞬一へ置いて徹はないでありませら。 個やわき床の有無によつて 以前は在唐が上であったの

昔とは異つて考へらむるからです 座を上と殴むと宮内省ニの顔なる 一間の床に、生花とお供へと雨力 一つに致します。 (床) の間に飾り香油は、

うも一本足を 興に置き、 青年には 脚部には三本の足の

一つまなの現を加へてませる

内各有名谓店及黄金町三僧二國五十錢、送料十四

は、羽織の長さが上ほど大切です」います(綱村マサチ女史)「羽」 総要を美しく見せるの になるはらが恰好がよろし なつても、かへつておかしうござ ひます、水では汚れが落ちま 洗ふ時には、必ず耐温器を用 煙りに手を切いてあります。 ますが、相悪な品は、内側の 内側と虚か一様に は内側と底の独りをよく お正月用い近れを買ふときに に能つてあり 手 重箱の洗ひ方買ひ方 原通しのよい日かげに置き洗 るといふやうに11三度くりか つてはまた新らしいものを発 ラを水で練つて内間になずり の中に入れておくかび腐しカ ものト深の臭みを扱くには森 大根の第などで試つてから洗 ふとよく落ちます、新りしい

お部屋は

きれ

意用ごの後最

ふき清められた遊戯れ目の一つも 一定棚の脚も綺麗になつたでせらか 上天井の葉はお掘ひになりましたか はすみずみまで行廊さましたか、一近づきました。 お部屋の お掃除 の朝日かげをもつすにふさはしく。 手頭は、第5た日に

[安產日本] 無代並星器や抑士 膨慢値先生者

ては機にゆがみが来て、紙を張つ

|附を間に取り水を||た敷白の質疑題者の一大コンを||か「歌上海歌」に観覚に影響 近上海鉄の財物が出来ま 田雅義陳七蕃「質用長尾原位 本田博士が出版 質用家庭醫學 であります、これは本川博 紙上病院集です プの標に切って南面

同博士がこの數年間、本紙「原體 が関係の質疑に関して現代度

り正月のやうに迎まつた時は生花 つんで飾ります、循げ方は、投入れでも縁 も語だを飾ります。循げ方は、投入れでも縁 も語だを飾りま 水を一升加へ、消波に集句をとります。感表もこの方法でをとります。感表を見つてべたつくのなでしばつて形れた戸域子をとります。 て一つかみのお茶を領します。 ろしうございますが、無ければ いて ん。同色の紙があれば一番 しても恐知が残りますが、 もみぢなどの形に 入れを試つた時には 强力止血劑: 窟.

ガラスのひびには、完発にとれ しまはないうちに、セロッア

"喀血の治療法"

痰血-血川勝門

開交は注射により、よく短時間に開発は注射により、よく短時間にして、内

本剤は止血に有效なる動物の脾に

血液凝固(止血)の效力を發揮

。各大學病院各科にて質用

う過級を批調として一般家庭の 派として質地診療に能事して提 に認められた學説と多年の問題 際に即しまた實行に便な家庭

臓脾の核結

長。跳などでもよいのです。但し節ろしを話けたいやうに思います。 |孫華草、南天、繁華百合などがあ。やわき床のみならず正月は空間に千角、水仙、寒菊、白玉草、樹、 られるわけでありませう。床の間 正月用の活花としては、松竹像 ますから、最も経済で一般に用 あり、色々と好みのものが得られ はありませんが、所花は配数でも 口など、田入りにさわらね處を 栽などを床の間に

あものはちぐはぐでなく、何等か敬

(盆)

不調和になられやらに注意します 絡のあるものを飾り、宋の間とも

正月の活化

-南、水仙、紫茶、白玉豆、桐、

性物植純 許持責專 -59 .75 1.20 を試明ない方 を試明がカコ 大頭がカコ 大頭がカコ 大部分がある を試明を表示がある。 起がよ 出たく 淑女も 而も Y 80 1.20

調和によつて引立つ 軸。生花。置物 体の間の飾り方 清洁化设元 中井如遊氏 ら、掛軸は豊ならばどんなもので よいのです。 指軸が花を中央に飾つても

めた生花が、景軸との不調和から一壁になるやうなものならよいでせ 花を飾りますが、せつかく竹്越町 掛輪の書の文字がこれに對する最

日の出、高砂、七品牌、 りませんとは、竹

一當流代

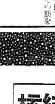
(東神氏) 爭關 ろりとしたら渡して達 しくなります、水一升 しくなります、水一升 しくなります。水一升 (27)

三二、玉石の間面 ▲五段 芳 屋く七八玉と指され、逆に五頭ので間步、同戦、五六歩と行たれるに間歩、同戦、五六歩と行たれるには間歩、同戦、五六歩と行たれるに同歩、四、五歩行もの目的 沙を切られて面白くありません。 個月たいものである。

**%加藤**。 て戦へないから「見るの位置が思う

金 易二郎







虚弱兒童等 結核性諸疾患

膜結

)活力榮養ホルモン劑 靡低格價 

製劑であります。弱體を原因的に强化する新肝に造血機能亢進等。

りあに匹品配化・塩薬・キーバデる

配會式株水香鶴全

結核菌に對する抵抗力域温 肪分の吸收を容易にし 肝油よりも服用容易

ネオ肝精は、肝油の難點たる脂 肝腐ホルモン・牛蜂汁配合 ヴイタミンス・B・G・D・G

其他貧血諸症 續發性貧血

核









お正月は実しい乙女の歌だ、『早

8組にも春の光がた火よふお正月 |幸子さん(でしてある

くお正月と来て頂戴ね」すつかり

お正月が来る。同となしに終し い、ゆそれだけ(四)ですが一 ちの現をすつかり添め、よらが ちの現をすっかり添め、よらが

では、おしています。 お出される鏡を懸いてみます。 おは、かけがくは、また新しい。 もにかけめぐは、また新しい。 もしい令な吟歌を吹べる人は世界 を迎いる狭心もおのずと薄い。 一の果鬼爺。こんでも大は出来 できぬいます、キーシー源での「人と選ないことだった」

書はなかなか経済的ですよ 書はなかなか経済的ですよ

悪法に風が聞る、費

のどかな羽寸の音、

びがあふれる、天に

著九十九日五十一四十比し何か

を締切ったが引受四年一千四日次

道: 鎖着一萬八千六百六十一

天登庫] 水が御崎便局では二十一部市、豊村を通して御大路にし国、韓人公部が今直もに街正で陸正す

永登浦の年賀郵便

の正片礁偏取出の便宜を引っべく

期例なき域時市場を別述すること 来る三十一日には日間に横工命で 見られてある、なけ猫に月の町はをり随運動の第一期は元つ成功と

郷薫の思想善尊に献身し 年の間名面長として

小坡翁の輝く功績

には正月姫側の市場を閉かれるか

(統一する編学、例印

近其他知識所載では 元と質けし ことは困聴であるが以公吏の家 地の政権政内まで同談せず敵外に止つてしまつたので徒期の比別がであたものが異然中途で退和を示したため解放の産業

引受到着ともに

躍一倍に

工業地帶の發展を物語る

例年に比し一般に水得高の滑大が優別されてゐたが、鳥外に「観響」風浪費の鯛魚期も愈上木塔的藍鯛期に直面し木巻は

人工孵化もつひに明春に延ばす

統營の漁村に悲鳴

何を破り初重は統領型一運而

も逃げ出

も類形が高らないので世界者は影唱を想げてゐる。本年の館 周回神状況を郡水産保に置すと、入漁場の常時は常温が高齢

た韓人工媒化も明春一月七月頃から最めることに晩更した十日から遊水産職職に職衆智局が襲動戦し施行制液中であつ十日から遊水産職職に職衆智局が襲動戦し施行制液中であつ十日から遊水産職選が本場子に入つたので戦進観団游を待ち二郎書の段戦場選出が戦略となり回営なり、一方この三、四日の総のでは、

一日の一日

一点退し放山の小当に

り名鑑けて役進に定をひら

● 医過年を組みた関連計長位氏に同じ、さきに北洋に初

すべく原領市とある 行しまた近く「小物館」一をもつ

種倒八はさきに々小時時日。を刊 - 如何なる存在か、たじのと悠々自適する元洪||城町長韓、つものであつたといよ

観を迎れてその等。ここうこに

てり置き版 国際上名前以上でつる。これのりくべく 年を慰め礼中に強く肌心し

貧源開後の大動脈

樹海を縫つて蜿蜒十一粁

**西多跳 秋為小块给集然** 

動の出

**全州河床一帶に水管を張り** 

用水を清冽にする特殊施設

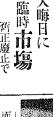
鐘紡自慢の新試み

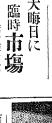
平南陽德郡の林道完成

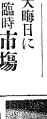
郎 既に動者したものは十四人元 干通い多致にいばり昨年より三割 九千百通で、昨年より一節一分三 丁七 口までの成骸に引受。 | 十五萬 の整理に大量ともつてあるが、 二とは器域の類く単同せる。 平四配便

れが展現にあたつてゐる

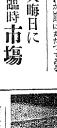
大晦日に 臨時市場











「清州」 陽鷹正月への統一運動に「次公園校長の打合管を時間 清州 の試み 一時から 同郷經濟司室で管内 一時から 同郷經濟司室で管内

除夜の鐘に描く

美しい乙女の夢

お父さまの秘書幸子さん

悲しみは唯一つ愛犬の死

の邸は一家の住宅でもあり、そこ

常に家族主義なお父様は他にはお父様の仕事単でもある、 事務所を持つわずらわしさか ら取る一部無道務所に改造

き、それよりポンプで丁国に淡水 河床に埋め込みこれを大井戸に築

一るので、いはば河床一帯が超過一発症を単記世質肺中の思南の主

【大田】盛過百萬田を目ざして師

佐非完成さすべく大馬力をかけて い開催もあるので一月一ばいには

桑の皮

制紙原料に 思南で斡旋

一、取水工事は冬間間の水の試展

しか、地均工事は解水をまつて岩 。長じ上野風の手で工をはいで居

いるが同工事の水管は全部を持つ

進し人生を始的に質感する除夜を

より、明暗と生死の境を縫ひつく し女は疑問である、正月の物間で

歌すべき夜ではないでせらか たしかに異夜だと思ひます。 「変表の死々である、記言か言語 くやうな気が致します。 派安は一つの悲しみがある。それは

痛な憂にいまだに払い耳に応いいなどあったのでせる。ちてい

信私。耳、吃

「三州」加耕を州丁塩収水及びつ

の飛躍よりを如實に示し、總數段一分二回いづれる可聞に演都作り

世手町の翻から間にある幸士さん。 来た要犬だけに情は一層がけられ さんは感慨の乙女である ま文様が可愛がつてるたった、夏犬の好を譲る差す はれたち 家を明らかにこうてく 氏は形角の傾目を急にゆくのだと 変し風が酷に吹き流れる呼い響んだけであった、お父様に選兵師 4 次、変犬の腹波を悲しなかつことが、 ない風が酷に吹き流れる呼い響 ねしたその目がもようど夏犬が死と愛犬の死とである、副語か言語 ためらちしほれ、また永く飼つて は滅じい音を立て、高唱りしつ、 でなければなられ、夜は見けてす。 る乙女の種情はく無謀なる門高く

一人は切なさらな呼吸をくりかい何國へか夜の意をかけつて行うこ 冬の庭の風が荒んである。私は暗がりの庭に限を明けた かれに死がどんなことであるか 私と変大の二つの影「野をさ やがて野の中に膨か一つになっ

題と開来各國であるためで子」と著手さんは野心間図ささか

間は時として人を選切る、犬 (寫眞は幸子さん) 一二、日丹四郡へ出張し地方狀況を輸営房主事、甘西土木課長をに、 金忠北知卓視祭

超祖合」に對し二十五萬行を所能 する事となったが活成の職に築地

たか地に頭錐部の需要物で、音ん、数は注意の十月三十六日から たが地と響されたので明ずから数。近了する金属田本道理方器技に をは他を響されたので明ずから数。近了する金属田本道理方器技に が出版中であった基皮に剪雑紙の版。可報き十六日から官差。便に収 が取りのであった基皮に剪雑紙の版。可報き十六日から官差。便に収 が取りのであった。数約班

田邊 商一

店

| 日本 (金石) 田田 (金石) 日田 (金石) 日田 (金石) 日田 (金石) | 日

TY 300

東洋唯 一を誇つた

鎭川青年團

發團式舉行

ひ氣温が祟り

昭和水組の復活 當時の委員を中心に猛運動 近く各方面に陳情

日の住日を行し當日午後二時から 川面郡年殿の建設式による二十三一八面郡年殿の建設式による二十三

観川公曽長で鮮民有恵多數種列の

|活題動は認近に至り散く活潑となる。ますることになつた。 | ちて宝二十男団の昭和水利息合後。江戸中に總督はじめ闘儀製路に健

◆……しかる老崎に達する主で机上に岩田球を建さて、新聞を取らればの整合として整額し本紙をにじめ数値のもかを表現としてその創刊観より保存し一部決水鏡の近失したことを新推してある位で、さきには毎単紙の計画を表現して表がきない。

百乾寒

胃

れ、当英に直総督の国字と韓氏……小坡韓和島一県生に幸多か 水原稅務署

早期三手當

て以来一意 関急百の 計を両導して以来一意 関急百の 計を両導してよく背神の思想の連続に関いために関係を記録になったとので、成みを別り参加とは、おいたとし或は海外の同胞にませれんとし或は海外の同胞にある。 れて成典郡西退湖面長に就任しい。これより先太正二年に巡ば居者である 【水原】段務署総合は水殿組織

聽舍洛成式

常備して「早期に流して下さい、悪化を防ぎます。り勝ちです。そんなことのないやう、チミツシンをたり、肺炎、百日咳に移行したり、重大な結果になをの病氣はせきに始まります。放置すると、殺熱し

段を前に一匙を

與へて置くと、夜中によく作用しせきが鍋まりますかりか、一家の安眠を妨げますが、髪も崩に一些を殊に頻發致します、とりわけ夜のせき込みは患者ばなに聞はさほどでもありませんが、寝てからは1-1-20\*

を禁止し 福祉元日 元山平日金剛山丸

| (一川元日 単山平日 木加二日 | 八川元日 単山平日 木加二日 | 八川 日 郡山 日 木加 日 | 八北原線 博芝加行 | 順日常雅 | (中国 本部 ) (中国 本語 ) (中国 和 ) (中

はとなり奏伝説をもつて当せら



少の量を過ごすも概迎し、しかも多 無難なのがチョウ 喜んでその内服を ので、小兒などは 称りが良くてけい シンの特長です。

原店にあり 一別八十銭 加 

+

(中) 中 (中)

特種製劑(新寶)

く範出し無した。 春间状の二種類を斬らし 春週のチミプシンの値に

△東站近遠近照 国中返埠州 △和公元道中國時頭 7 配船故之船 政ノ間停予取計と話りマス 日本書館、1-15

①エフェドロ=

- 五〇五十 一円八十 健

喘息及老人の

夜間咳嗽に

新管支、肺、 気管支、肺、

②グアヤコ==

一把八十载

一 新山田朝 | 国際地域支出 帆廣告

咳咳咳

要自山水(在地)。在三大市)(江东村等四点加高市一名) 《江东村等四点加高市一名) 第20大日 第1大日 市市公司 第20十日 市场上日 市山主日 原省大日 明江日 市地大日 屬地大日 總法之日 第20十日 市地大日



同情週间は、好成績を収めて廿五

九月、第二種二百三十六月、支 二十六月、第二個五十三百二十二 師定の甚に家田二伊和山田歌所始越今第一種自三十 「忠紹九千国に建し第一献于二百」 「日1十七・1次十金郎召計「千二百三十六国」 「日1十七・1次十

師走·家出

一般へ金八囲を寄用した一般へ金八囲を寄用した

飛出した一名の経過、 通行中、突如附近の共同使所から

フ掘つて密走せんとするのを、概を要倒してさしてゐる細意音を極

當つた日米一俵

そのない寄附

感心な佐藤少年

トさい.」と願出、緊張一同を緊囲

正月酒八拾錢

会求会前出設所令島域第一成百十 下ある 大戸、第二種百三十大戸、支給 である 全額合計四百九十二國

一戸が街の温かい同情をらけるわけ

sDは廿七日朝十一時ごろ西発銀行

|人日西大門塔へ短追願ひ の小切手師画二百國を持つて家出

の間つ掘びを観路者へ御用 せたの間の掘びの掘びを観路者へ御用 せた

試験週間を同所依在英さんでうが

集つた現金一萬三千圓に衣類米など

けふとあす各方面へ

「稲切り、その後は方面委員、

野分するが、支給額は

立方面事務所で係成六十名を動は |呆四十**成に達した、廿九、**卅日

これら金融を耐の各出職所

億圓

で會社を新設

水利開發

は木生も正月用酒として生一木の「まれの陰風者、孤見帯と強づてみ、ぼて直負して大好郷を壊してをる」十字閣を轉むしおり蔵末。新年に翌日では近りに大好郷を壊してをる。十字閣を轉成し各年から切餅二、「「一一一一一

二師姓を持ち客り競表、新年に思 ・十字殿を頼成し各四から切断二、 ・一年をという。 ・一年の日本ののはてで少年水

月下旬京城で覺書調

○ 1914年7月五月、支給金額 | 韓密一如を野坡する各種財産の5 | の一大部湾財政となり、各種工業会計で七十九個
 ○ 2014年7月五月、支給金額 | 韓密一如を野坡する各種財産の5 | の一大部湾財政となり、各種工業会計で七十九個

上中大槌のお能工作の都がみを行

一種二百十四一のつけられなかつた関係には館園一を活調がのため米城する李龍州研

四手井侍從武官を 朝鮮〜御差遣

國境警備を御慰問

を高く御絵念あらせられき関右され、確実民の身のも

権災民の身の上

七日伊豆新島を残った構築の【東京市話】畏き逊りでは甘

畏し下賜金

ため、その被黙少からざる趣

る朝廷市御殿間の 異き御思 仮管國北門の守りに當つてゐ る朝頭前側が聞の 現金御思 月二十三十張東京出線、凡そ次に関北時間の東位を第つて日 同語説は下側の卸鉄章付銀車 れる第二十八十卯田された『東京館出版・別の観点・開発のでは、 れる第二十八十卯田された「東京電路」 大足能下には れる第二十八十卯田された

中佐を明鮮に御着遺あらせら召から、俳鍾武学四手非観正

を観察財際する部一ヶ月に取り朝鮮各地の将兵 およつて金一世下間の間の大

調は語の歌岸、水利明路に購する

新館社設立 の下交渉が 本町で選引 京城県町 に御則を示し青年間の活動をより 京畿道から都市の若人へ

であるので、原色のビル館に駆き 登楽都會の帯年の間では「費年間が覚々たる組織で好放縮を記せ」類を帯げて費はうといふのである

署長に宛て都市郡年殿祝徳監査能 去る八月結成した京潔直殿村選年「代耶年の指頭が弾を示し大いに富。 インテリ層に関しても聞く唐年一部長の第名で道内の各世社、登祭 けるトクプを切つたものである。 がもな都領の歌年にも確認さる近 一つがはびこつてみたので、こけ的で内冷部長、登祭都長、酢栗 大、都市西年飲の歌別は朝鮮にお れたがら、無震力と無態形に流れ 一つがはびこつてみたので、こけいる方はの 一名がはびこつである。 がもな都の歌年にも確認さら近 一つ数に証さも元分な考慮を描め いっぷっぱい おき 一 京津書では生四 有解像に纏腹地臓することになつ てゐるので、居色のビル酸に除さ 微束都資の背年の間では「背年」といる方 た、都市西年版の戦闘は朝鮮におった。都市西年版の戦闘に進起に進起に進起にあることになっ

一向ふからも映がおいて来る。そ ・徐々彦いたお、朝がつてゐた以一

うもくがおってKo、と「凱旋時軍でも迎へたやらに転アパールニテし、コニー引起していてから出す、目をみはる「監解・事故へたやらに転アパール学派でやつてのける連中だ、

人とも、われこのテガリーに

い!二 とばかり下切つて捨てるの肚母を るさくて考へやしないよ

- トは師走もクソも吹つ飛んでし

れたで良い「語上四級以下は絶對

からした所割不良少年能が意城に

春の圖書館 元旦だけ休み

以の問題に出て来たく

奴さんたら腹暗つた自分の身體を 戦争でポロを造め込んだ肌の中へ 生物館してらに肌の群が超ひ集ま トーブなんておかしくつて 北で十向回目の遊戯だ、他の港に よで十向回目の遊戯だ、他の港に してもみんな大詞小異 してもみんな大詞小異 駆された、クロとコマと他の四、トタンに以アベートは飛事隊に選 まへ!とばかり話ぎ立てる 五人は龍山署のブタ群人場、しか とも確むことも大して難りないと。まで推出して『一鏡頂機』ののようと云ふところかに結局指ふこ。いふから、その氾濫は本町ギンザ団に掲も能り続いんじですないか。更に家なき火年能が倍加されたと る、親師さんは?知らないね、生一びつき時ならぬ表唱のソプラノが 「肥を改學は百も劉某則、儀の下も、創えてゐる、今年は預罪の水響でに飛翔成分を受けない」といふ法。さつと二千人、金郎で二萬五千を

いふチンピラ仁義が生れるんであると手で説はを着師るレディーに飛

きれは?さあね、一個幾つだい?

多でられる端ではある||場長は置

とになった

の青天井韓惣罪である屋根が欲し「夜空の星も仰げないが、ことなら」

一いなアーー明りを入れる患もなく | 經過に木枯し防難のK!吹雪も雨

一般の自然の防原壁を後指にしてこ

って」でない。金融計が非凡になった 「さうと、コマ、おめえの金く

もさらに深じることはない臨動コ

ンクリートの豪華版だ、遊江大場

パート」と呼ばれてゐる、大京城こは前山旭川橋下。一名『駅のア

ろ、戦地戦にコンクリートで刚まい街々に心もとない夕暮が迫るこ

#1の三と低大と続つて来る。だが、にはビカノーと眺の過ぎで金牌語と取るこのを「へたチンピラ少年」が「郷に繋を配った、クロの角脈はれた灯のない様の下へは今日もっ たつた 「法げえやー」 収録の残群

ふんだらう、素人目で傷の中を製しはコマで五、大尺もあるかと思ば

が成つも殴つも咎いてある。コマ れら並頭を胸から脅中へグルく

いてみても、それらしい路はサッ

で配かするんだ……と思いたね、しかし때にもさくしと動物の動く

みんな一體どこへ消え失せてしま

京城にはざつと二千人ほど

と思言がつつて来るとさすが

留置場入りは餅喰ひの樂しみ

正月だけは波婆でさせてやらうと け早く取調べを片削けて、せめて 那山岩は父父岩より出

**順氏を助け民間航空に活躍** 

新島人

立む上ると上衣を助き捨て、跳に クロとコマは眠の中からむつくり

有難くも思はない

ダイヤモンドも、ルピーも古歌

の健康を約束されてあるが、 し來若早々からは週一回往復を許可され將來 士は京城福里間の定期航空路の登業権を獲得 半路民間配谷も

新銳朴奉祉飛行

へなつた、根飛行士を置た同識は目下北野漁 内地から蹈城、鼠航空事業社で洒離すること 内地から蹈城、鼠航空事業社で洒離すること

士を助け一歴半島民間航空に光彩を添へるた

高曽卒業、東京日本飛行學校を卒へ亞和亞なほ朴奉祉飛行士は撰飛行士と同窓の領文

すべく待機の姿勢にある

温で計蔵中の海上無蒜質繁飛行その他に参加

時、一時登時、一時登

女を襲ふ掻拂

田線の金倉、金祖絵等時度二百世 歴像時でもにす八日平区三時ころ

យを持ち出して家田、釧路塔に郷 最城的海町三の二八一個「複数

今度は二度目で堪忍なられ

東客の婦人から金簪を掻つ拂つて| 氏の三男並転更(こ)とて同人は去一今度こそにと能罪など厳重取調べ まで証路して再び避難した、調べ「額路器に機撃され、 る五月十五日盟洞町で、バス内で た結果前発明八〇間中機能會職果 中である

剛中樞院参議の息子

蔵形に描かれた小学児童に美しい

美しい童心 同情の餅寄附

北河社

り観絵、程成された事あり祭旨も

**新指生苗,廿八山西面省岩県史岳** 

て釧路小學校門平生、京城橋下町

配恭正、通仁町四六世歴世の三古の五階本章、郷上町一六六の二官 飾です、強かで済みませんが困つ かパケツトー てあるお友選へ一つ宛でもわけて 「これはお隣から私達が頂いたお 祝お餅をさげて訪れ

龍岡縣三都郡城島町宇青塚九七一

歳末に躍る 江頭氏は厄馬の報により廿七日午 番地の自邸で廿八日午後六時逝去

数末をねらつて聞るイカサマ脈の一 躰が本町窓餐配準に用掛った、 。 一部打造で見割組とサイコ イカサマ師檢學 御成町の賭場崩れ

の男は一寸した隣に歴史の如く飛い町部出所へ連行取調べ中だが、件

みが弱力、格闘の末敗罪へ態態中

せた

日五層を駆敗として特質する由の五層を駆敗として特質する由

)高崎近辺。ご母所不定断高安一切的多級重!洞へ中である「四三項用象火廠(三人奉町四) 技術館 も相常に統正章 する。「別語明日有正職」で三級通り 日常でに続ってあた事物明一四三項用象火廠(三人本町の 技術館・相称といるた事物館・一次の間がある。 日夜十一時ごろ京城御院町八一個、塩銭売り八十銭を押収取調べ の家を根城に厳水のでりくり食が

**慶**谷事件解決へと 西大門署の緊張

蔵冠の緊ឃで張り切つてある真成。を進めてあるがまた船舶即位の特別地面大門器では魚上郷し迫つた一部湾を検察、サ人自引から取割へ の縁は極度に緊張し四十五名の不 一直後から廿八百朝にかけての非 西郊観音の帰遊勇伝統生で仕一疑番らしいものは一名も現れない 四十五名を検束す 一般に出版し型点を試けてゐるが、

佐々紅華新作

が切迫る

當前則現郭並假廣契什研工圖将不 品的研究學院與2000年的上級時代 例期 便行 約 据 研題立 即預 體 計象金費金金金金金金製所專山協金

全報市三郎( \*\*)といふ遊さん師

□ 発約期間 □ 十吋艦二枚毎月完了

も踊るにもく

威盤です。 舞踊大家振付

くの、に權各

合加期

質值之部

み々年中無株/公開を標切の要望と副計器の旺盛に重 の要望と副計器の旺盛に重

して来たが年末年始の体収して一般創出家のために盛

☆……どらしたものかックわ!√ のある飲食店でバクチを始めた 鼠様(wo)と李宇山(wo)の二人が 基ゴロの全階長城郡北二面の邊 爺さん砂中になつてゐる原に睹 とばかり廿三日夜、光州昭和町 山で一切けしたのでもら一切け

にて御照會下さい詳細は最寄特約店

製造設置 花式合社 日本

出頭一私は御法度のバクチをや せん」と自首、お叱りを受けた を協議つて雲を置 りました、ヘイ、どうも済みま 后翼した末とう (一光加器) 痒み止 拔毛止 フケ止

京城三坂 施二二三

内地族行中に付年末年始缺禮仕候 

表家部以

ツギメナ、軍手

和表近二次。方が生来 田手製造はアギメナシボデ に張る製造川即 純学知恵牧 入多大春記者・ガキで銀行 おか製用か起す の現が約束大門町一ノス四 系域粉質大門町一ノス四

各集 美雄ケース入

天中野雲月集 古田奈良丸生木石間栗 盟山立邦

郷殿隅井 雲 は 治経牧 (他共)

おとこ

流行歌

大湖上の間り川崎 英子山 は白 観大川 野子山 は白 観大川 野子 美方奴

東海林太郎

酸子の本温温の本 題て順

**受驗** 一月十日間謂中學卒

大 京城等的ソウルビル二四號第一段 金 破 部 路 星 金 破 部 部 手配割引

職員身点保証金 107807703-00 画 職員身点保証金 257-12 画 大 機 金 257-12 の 会 元 会 元 会 元 日本之難 - 候 世 田和行登平行成月

新一次 多紅人和土候間御用 京城東大門 新展問題 京城東大門 新展問題 京城東大門 新展問題

日本高周波重工業

恩給 他方と立世要中のも 

※ 京日委所





而製調

會 商 明 泰 齡 所 强 出 城 京 八一八一川金湖城京 香一〇三三段局本師館 香二〇五五城原田中部 香香

**惊演火** 

群和奖

力強大

京城街麵的 電腦光化門(3)長1580香